Flood
フラッド ガード
Guard

簡易型止水板
浸水被害 ゲリラ豪雨対策 防災用品

Flood Guard F

止水力、軽量、且つ少人数での迅速な設置、撤去作業を追及しています。

index

開発にあたり P1

性能比較 P2

製品仕様 P3

設置と接続方法 P5

Q＆A P7

Flood Guard F は非常に優秀な **止水性能** を有しておりますが万能ではございません。

土のう等その他の防災グッズと併用することにより、 より万全な治水を実現させます。

Flood Guard F（フラッド ガードF）の必要性と有効性

開発にあたり　近年ゲリラ豪雨や台風の影響で浸水被害が全国的に増加しています。

風水害による被害棟数

特に床下浸水は風水被害棟数の約60%を占めます。
従来からある土のうでは準備に時間がかかり、 また女性や年配者では準備・運搬・設置が困難です。
そこで誰でも簡単に設置できる床下浸水を防止する「簡易型止水板」を開発することにしました。

※ 総務省消防庁資料（平成29年災害年報）より

非常に軽量で、運搬・設置が容易です。ABS樹脂製の為、強靭な強度があります。
使用場所に合わせてサイズを変更でき、 未使用時にコンパクトに収納、 3Rに対応した製品となっております。
またReduce（高い耐久性）・Reuse（再使用）・Recycle（再利用）と環境へ配慮したマテリアルリサイクル製品です。

高潮や**ゲリラ豪雨**等による洪水の床下浸水を防止。
洪水ハザードマップで浸水の可能性のある建築物への対策用品。

特徴

- 軽量でありながら強固なボディ
- 設置が容易で初期動作を迅速に行える
- 繰り返し使えて経済的
- 重ねて収納できるので場所を取らない

Flood Guard F が倒れない原理

- 底面部にかかる水圧で本体を固定します。
- 背面部と底面部に設けたU字加工により水流の圧力を分散させます。
- 底面アンカー部には高摩擦テープを備えており、本体のずれを防ぎます。

性能比較	Flood Guard F		一般的な土のう	
本品以外に必要なもの	不要		土砂・器具	
運搬	少枚数なら運搬用具不要 量が多い場合は台車を使用		土砂の運搬をするため、 ダンプカーやショベルカー等が必要	
迅速性	置くだけで能力を発揮でき 初期対応に優れる		土砂の詰め込み作業が必要	
設置時間 ※10m 設置下準備除く	1 人で 5 分		2 人で 4 時間 (50cm) 2 人で 6 時間 (80cm)	
耐久性	流されたガレキ等が ぶつかっても壊れにくい		流されたガレキ等が当たると 破れる可能性が高い	
使用後処理	乾くまで天日干しするか タオル等で本体を拭く。		土砂を取り出し廃棄する 処理作業が必要	
再利用	可能 Reuse(リユース)		不可	
耐久年数	未使用時 10 年 Reduce(リデュース)		紫外線に当たれば半年〜1 年、 UV カット製品で最長 3 年	
	Flood Guard F		一般的な土のう	
重量	FZ50 / 1 台	FZ80 / 1 台	高さ 50cm / 1 袋	高さ 80cm / 1 袋
	4.4kg	7.7kg	25kg	25kg
重量（10m）	16 台	16 台	300 袋	450 袋
	70.4kg	123.2kg	7500kg	11250kg

フラッド ガード / 製品仕様

平面止水板

FZ50

サイズ（W×D×H）
705×700×530mm
質　量
4.4kg

FZ80

サイズ（W×D×H）
705×990×830mm
質　量
7.7kg

調整止水板

FJ50

サイズ（W×D×H）
570×700×530mm
質　量
3.5kg

FJ80

サイズ（W×D×H）
570×990×830mm
質　量
5.7kg

内湾曲板・外湾曲板

内湾曲・外湾曲を使うと角度付けが可能です。

FN50

サイズ（W×D×H）
（上部）630・（湾曲部）300×700×530mm
質　量
3.1kg

FN80

サイズ（W×D×H）
（上部）845・（湾曲部）480×1010×830mm
質　量
6.7kg

FW50

サイズ（W×D×H）
（上部）403・（湾曲部）740×700×530mm
質　量
3.1kg

FW80

サイズ（W×D×H）
（上部）485・（湾曲部）860×990×830mm
質　量
5.6kg

伸縮式止水板

横幅調整式

FT50

サイズ（W×D×H）
560～705×700×530mm
質　量
6.6kg

FT80

サイズ（W×D×H）
560～705×1020×830mm
質　量
10.0kg

附属品：止水ゴム

横幅の調整が可能です。

※詳しくはP6または、QRから解説動画をご覧下さい。

漏水防止大幅UP! 簡易な設置!

サイドガード

側面が壁の場合、サイドガードの使用をおすすめします。

FG50 R/L

サイズ（W×D×H）
295×700×530mm(R/L共)
質　量
5.0kg（R/L共）

FG80 R/L

サイズ（W×D×H）
295×990×830mm(R/L共)
質　量
11.3kg（R/L共）

FGL50 R/L

サイズ（W×D×H）
420×700×530mm(R/L共)
質　量
6.0kg（R/L共）

FGL80 R/L

サイズ（W×D×H）
420×990×830mm(R/L共)
質　量
13.0kg（R/L共）

FGX50 L

サイズ（W×D×H）
575×700×530mm
質　量
7.5kg

FGX80 L

サイズ（W×D×H）
575×990×830mm
質　量
15.0kg

サイドシール

止水板背面の壁を利用して止水する場合にサイドシールの使用をおすすめいたします。

FS50 R/L

サイズ（W×D×H）
140×700×530mm(R/L共)
質　量
1.5kg（R/L共）

FS80 R/L

サイズ（W×D×H）
165×990×830mm(R/L共)
質　量
3.0kg（R/L共）

サイドガード使用例
※フィッティングバーで止水力アップ!

F80では、
フィッティングバーが
2本になります。

設置事例

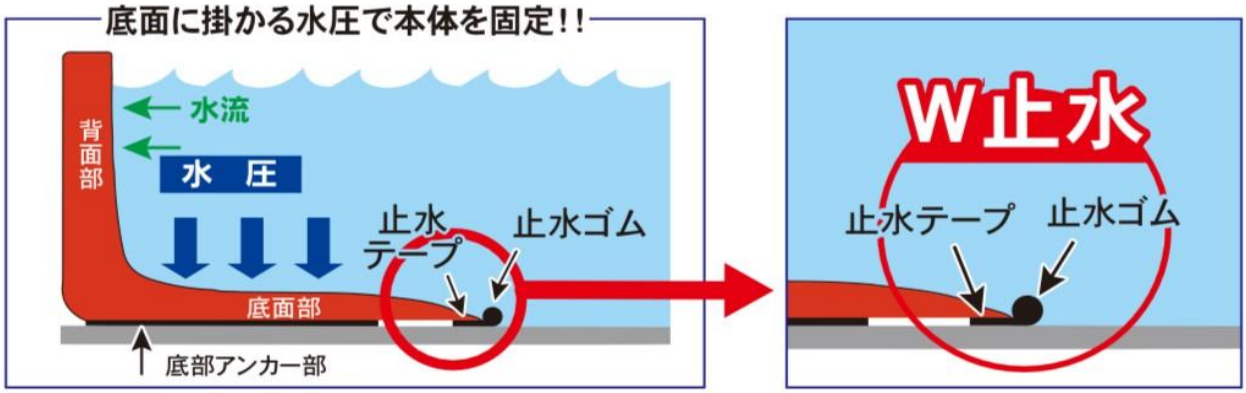
商品背面のQRコードを読み取ると商品取扱説明書（PDFデータ）が確認できます。

止水板の設置と接続方法

1. 最初に設置場所の確認を行います。
2. 石やゴミなどを撤去します。
3. 止水したい方向に向かって止水板の背面側に立ちます。
4. サイドガードまたはサイドシールを左端に設置します。
5. 続けて右側に止水板の必要台数を接続していきます。
6. 最後にサイドガード(FG・FGL)またはサイドシール(FS)を右端に設置します。

※詳しくはホームページ内にある取扱説明書の「接続方法」をご覧下さい。

- 接続方法は≪A≫の下部ソケットに、 次に接続する≪B≫の下部フックを差し込み≪B≫を上から下に向かって押さえながら≪A≫と≪B≫を連結させ、 最後に≪キャッチクリップ≫でしっかり固定します。
- Flood Guard Fを建築物に設置する場合、 基本的にFS(サイドシール)FG・FGL(サイドガード)が必要になります。
  ※水の流れを変えるなど必要のない場合もあります。
- 設置する場所の周辺に障害物がないかご確認下さい。障害物がある場合、状況により設置出来ない可能性があります。



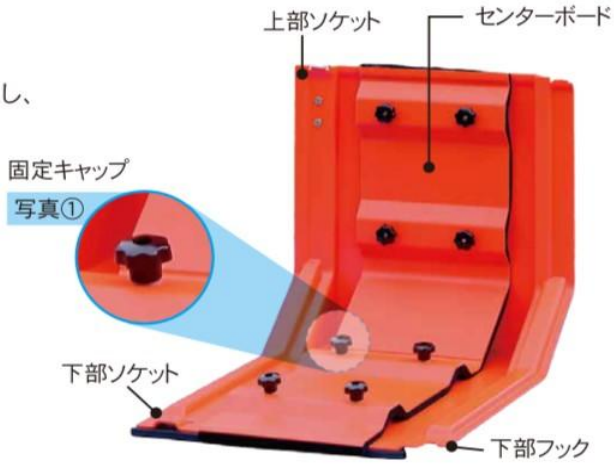
W止水とは

- epdmスポンジは圧縮されることで止水効果を発揮します。洪水初期は水量が少なく水圧でepdmスポンジを圧縮できず漏水の原因となります。 ※ epdm(エチレンプロピレンジエンゴム)
- Flood Guard Fは底面部前方と側面部などに止水ゴムを配置し洪水初期にも漏水を大幅に軽減させます。

FTについて／各部名称

Flood Guard Fの調整板「FT」はスライド構造を採用し、
微調整が可能。

①FTの幅を調整して設置する場合は、
固定キャップ 写真① を緩めた後に
幅を調整し、 固定キャップを締めて
固定します。



写真②

写真③

②幅を調整後本体を裏返し、 止水テープ・止水ゴム 写真② を
本体の幅でカットして、 写真③ の黄色枠部分に貼り付けます。

※詳しくは解説動画をご覧下さい。

ココがすごい！ 横幅の調整が可能です。（FT50.80：145mm）

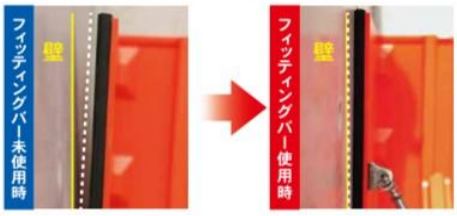
全閉状態（背面）

全開状態（背面）

※あらかじめ設置場所での計測が必要です。

フィッティングバーで止水力アップ

突っ張り棒の要領でご使用
いただくことにより、 止水
板と壁との間に隙間をつく
らない事で、 更なる止水効
果が期待できます。
※サイドガード・サイドシール共通



止水板は両端の壁を使用して浸水を防ぎます。
しかし、地面と壁は直角ではないことも多く、止水板と壁との間に隙間が発生する場合があります。
また、止水板の壁側は底部に比べてかかる水圧が低く、効率的に止水ゴムが圧縮されず水漏れが発生してしまいます。
フィッティングバーで突っ張る事により水漏れを最小限に抑えます。

フラッド ガードは非常に優秀な止水性能を有しておりますが万能ではございません。 強風時や災害状況により土のう等その他防災用品と併用することで、より万全な治水対策が実現可能です。 なお、止水ゴムの劣化を抑制するため、高温を避けた場所での保管を推奨致します。

Q&A

Q-1 障害物などがある場合には設置できますか?

A FN(内湾曲板) FW(外湾曲板) を使用する事により
レイアウトが自由自在に可能です。
FN50・FW50共に30度湾曲しているので3台で、
FN80・FW80共に22.5度湾曲しているので4台で
90度になります。

▲FN内湾曲板

▲FW外湾曲板

Q-2 台風など強風時の使用は可能ですか?

A 底面部上に水が溜まってない状態で強風が吹くと倒れる恐れがあります。
土のう等の重しを置いて倒れないように設置してください。

Q-3 止水テープ、高摩擦テープが破損してしまったのですが交換は可能ですか?

A 交換可能です。 販売店にお問い合わせ下さい。

Q-4 保管場所はどの程度の広さが必要ですか?

A 種類により重ねることが可能で、FZ(平面止水版)は連結状態でも保管可能です。
畳1畳あたり43台収納可能　※FZ50の場合
製品の劣化を防止するために保管時にはシートなどを被せて下さい。
連結状態で保管する場合は必ず本体をベルトなどで束ねて固定してください。

Q-5 Flood Guard F の生産地はどこですか?

A 生産は弊社中国工場にて自社製造致しております。

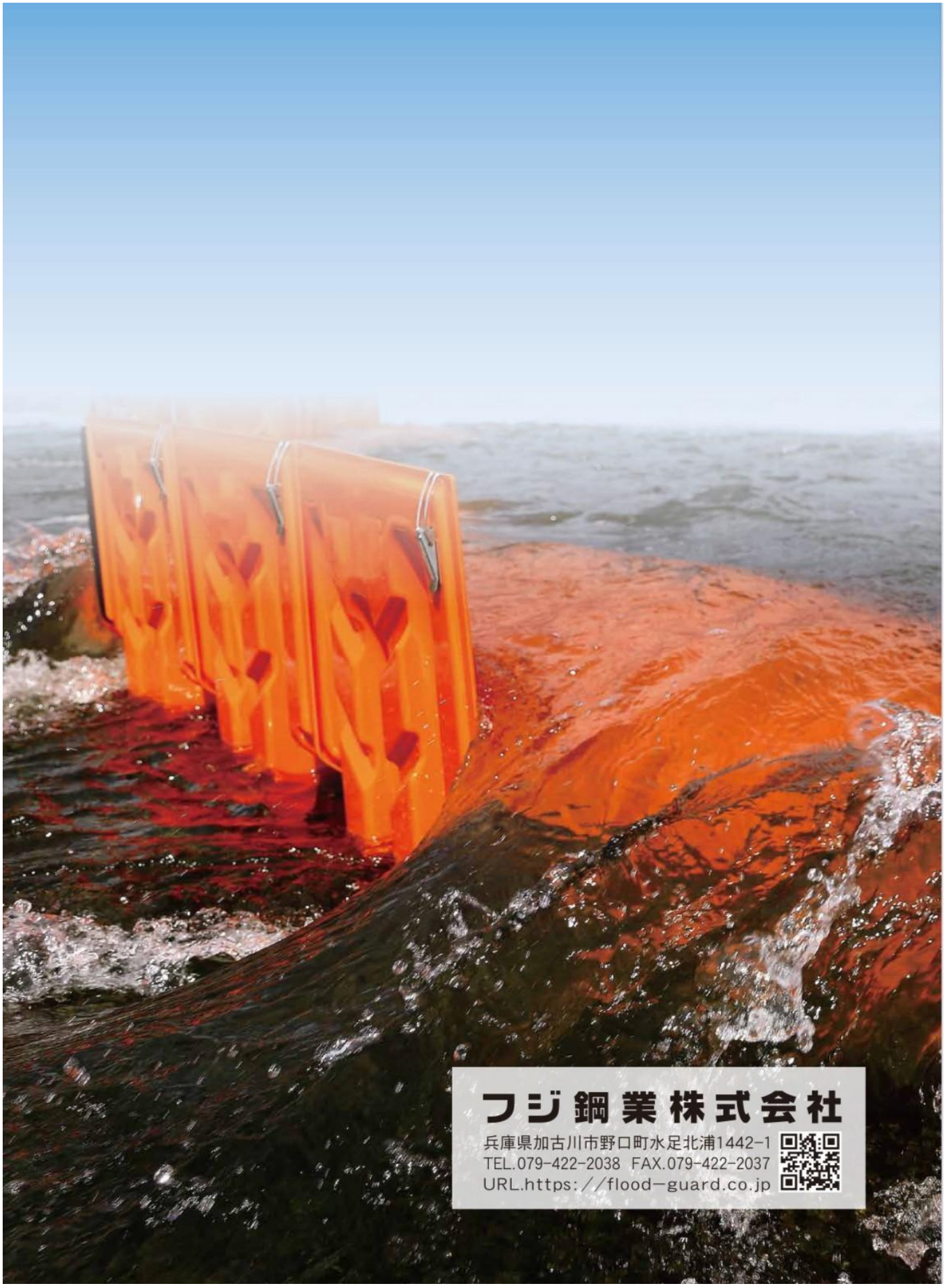
Q-6 試験などはしていますか?

A 自社プールにて止水試験をしております。

当社では、 皆様により安心してご使用して頂けますよう、製品の品質向上、耐久性、安全点検などを目的として、試験用プールにて各種試験を実施しております。(※JIS A 4716)

簡易型止水板フラッド ガードF型商品は一般社団法人防災安全協会により防災製品等推奨品として推奨されています。

「毎年どこかで起きている水害。
いざという時に役立つ防災用品が必要です。
簡易型止水板フラッド ガードFは皆様の
安全な暮らしをお手伝い致します。」



フジ鋼業株式会社

兵庫県加古川市野口町水足北浦1442-1
TEL.079-422-2038　FAX.079-422-2037
URL.https://flood-guard.co.jp